

事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

事務事業名	畜産振興事業			事業コード	2414
所属コード	154000	課等名	産業振興課	係名	畜産林業
課長名	大澤正一	担当者名	泉山	内線番号	252
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	活力ある農林業の振興	コード	1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード	1
予算費目名	一般会計 6 款 1 項 4 目 畜産振興事業（001-01）			
特記事項				
事業期間	■単年度 □単年度繰越 □期間限定複数年度		開始年度	年度
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

玉山区, 岩手町, 葛巻町, 新岩手中央農業協同組合及び岩手中央酪農業協同組合が, 牛の改良及び飼養技術の向上等を目的に開催する共進会の経費を負担するもの。

その他、玉山区内の畜産振興に係る諸務

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

玉山村, 岩手町, 葛巻町の各町村で行っていた共進会を平成 14 年度から合同で開催することとなった。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

畜産物価格が低迷しており, 飼養技術の向上が求められている。また, 3 区町村で各々行っていた共進会の合同開催は, 経費の節減につながった。

2 事務事業の実施状況 (Do)・・・・・・・・

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

玉山区内の畜産農家

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 見込み
A 畜産農家戸数	戸	376	354	354	354	354

B						
C						

(3) 24 年度に実施した主な活動・手順

盛岡市（玉山区），岩手町，葛巻町，新岩手農協及び岩手中央酪農協共催で共進会を開催した。また，畜産振興に係る諸務を実施した。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 構成団体	団体	5	5	5	5	5
B 共進会開催実行委員会・幹事会開催回数	回	3	2	3	3	3
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

品種の改良や飼養管理技術の改善を図り，もって地域畜産の振興に寄与する。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	22 年度 実績	23 年度 実績	24 年度 計画	24 年度 実績	26 年度 目標値
A 出品頭数	☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持	頭	0	125	126	116	149
B	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						
C	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	22 年度実績	23 年度実績	24 年度計画	24 年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	350	350	350	350
	⑤その他（ ）	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	350	350	350	350
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	100	60	100	100
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	400	240	400	400
計	トータルコスト A+B	千円	750	590	750	750
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている（共進会の目的は、玉山区内の畜産振興に結びついている）

② 市の関与の妥当性

妥当である（玉山区内の農業振興に直接つながるものである）

③ 対象の妥当性

現状で妥当である（玉山区内の畜産酪農家全戸を対象としている）

④ 廃止・休止の影響

影響がある（畜産農家の飼養技術向上への意欲が減退する）

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

向上余地がない（事業の継続により成果が向上している）

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平である（畜産農家には受益機会がある）

(4) 効率性評価

最小限の経費で運営されており事業費削減余地はない

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

現状維持で継続実施

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

5 課長意見

(1) 今後の方向性

☒ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）

☐ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）

☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

畜産農家の安定的効率的な経営を目指すための飼養技術の向上や情報交換，生産意欲向上に結びついていることから，継続実施してまいりたい。